

私たちの湘南御行会だより

平成 31 年 3 月 10 日 205 号

岩本楼懇親会が開催されました

3月4日恒例の、岩本楼懇親会が開催されました。藤沢警察から、新手の手口での詐欺が多発しており十分な注意が必要との講話が有りました。御行会も誕生会で藤沢警察の話を書き聞きましたが、その手口が益々巧妙になっています。もう一度話を聞く機会を設ける必要があるかなと感じました。第二部のアトラクションは、コーラス、日舞、ベリーダンス、昨年に引き続き和太鼓の演技と盛りだくさん、三部のカラオケは、岩田・三浦ペアがコミカルなデュエット「麦畑」披露、会場の喝采を浴びました生憎の天候でしたが御行会からは20名が参加し半日を堪能しました 加藤記



重要なお知らせです。「湘南御行会」総会を下記要領にて開催いたしますので、ご参集ください。

- 日時：4月16日（火）13時30分から15時30分
- 場所：片瀬しおさいセンター体育館
- 第1部 総会：
事業報告、決算報告、新年度事業計画案・予算案、その他
- 第2部 誕生会及び懇談

会費納入のお願い

31年度、年会費 金額：1200円/1年間（ひと月あたり100円です）

3月から4月にかけて、担当班長が訪問いたします。4月10日迄の納入にご協力ください

片老連春の親睦日帰り旅行のお知らせ

日時：4月11日（木） 料金：7300円

旅行名：三の丸尚蔵館、御即位30年・御成婚60周年特別記念

『御製・御歌でたどる両陛下の30周年』

掲題の他、新装なった「豊洲市場」及び「船の科学館」見学と盛りだくさん。昼食は江戸時代の調理法と現代の食材が織りなす江戸の味「お重料理」を堪能します。

申し込みは料金を添えて担当班長まで 締め切りは3月15日です（参加の申し込み連絡でもOK）
（締め切り後でも空席があれば受付が可能です、班長にお問い合わせください）

諏訪神社花見会のお知らせ

恒例、諏訪神社花見会開催のお知らせです。皆様の参加をお待ちします

日時：4月7日（日）10時30分～ 場所：諏訪神社 雨天時中止

参加費用⇒無料（お弁当、飲み物（アルコール、お茶が出ます。温かい豚汁も！参加者は冷え防止の座布団を持参となります。） 参加希望者は、班長宛て連絡ください（3月25日まで）



余りにしないで歩いています

海外旅行で感じる事で大半の国が車は右側通行です。日本はその反対で車は左側通行。対面交通で日本と同じ車が左の国は稀です。世界的に車は右側通行なのに何故日本は左側を走るのか調べたところ、それが少しずつ分かってきました。日本は「以前、歩行者も自動車も左側通行だった」のです。歩行者が左側通行であった理由については、諸説有りますが江戸時代に、武士が左の腰に刀を差していたため、右側通行ではすり違った時に刀の鞘同士が触れ合う可能性が高く、「無礼者」から始まる武士同士の争いを避けるため、と言う説が有力です。車が左側通行である理由については、車の前の乗り物であった馬が登場します。

①馬に乗るときには、刀が邪魔にならないように、左側から乗ることになるが、そのためには左側通行が良い
 ②馬士がすれ違う時に、刀が触れ合うのを避ける、ことから、左側通行となっていたが、それが車に引き継がれた、との説で何れも刀が影響しています。これに対して、相手が正面から右にいる時は、前方から来た武士に抜刀術（居合い）で切りつけられやすいため、これを避けるため、右側通行が一般的だった、という反対の説もあるようですが、江戸時代は左側通行だったが正解です。この暗黙のルール左側通行は大正 13 年に法律化されています。それが突然変わりました。終戦後のGHQによる対面交通のルール化指導です。昭和 24 年アメリカは「自動車は右側通行」「歩行者は左側通行」の国でした。GHQは日本にも「自動車を右側通行」に変更するように要求して来ました。しかし今迄の日本、車は左側通行、もし右側通行にしたら「道路上の施設の変更や車両（バス等）の乗降口の変更等に莫大なお金を必要とし、また長期の期間を有する」との理由で反対しました。結局は、安全上の観点を考慮して、「対面交通」の考え方の導入を優先するために、「歩行者を右側通行」に変更することで了解したとのことです。ここで車は右の世界標準の採用はなりませんでした。

世界の交通事情はどの様に変遷したのでしょうか？古代ギリシャや古代エジプトでも、交通インフラは充実していないものの、おおむね左側通行だったことを考古学の専門家が分析しています。数万年前から世界人口の 88～90%が「右利き」だといわれていて、左利きの割合が右利きより多い民族は世界には存在しないそうです。この利き手と、世界が左側通行だった理由は密接な関係にありました。右利きの場合、左側の空間よりも、利き手の右側の空間が広くなるように、位置をとるのが合理的です。中世の旅路は、極めて危険な環境下にありました。そのため、一般市民でも、剣や槍などの武器を所持して、盗賊や敵から身を守りながら移動し続けました。前方から来る敵を迎え撃つには、利き手である武器を持つ右側に敵を回した方が都合が良く、左側は敵から遠ざかった方が安全なので、左側通行が原則であったということです（正解では有りませんでした。前出日本で居合を防ぐために右側通行だったのではとの考えとは逆発想です。目的を攻めか守るかにより考えは変わります）

では世界は何故突然に車の右側通行が主流になったのでしょうか？そこには、かのナポレオンが登場します。しかしその理由は諸説ふんぷんでした。ナポレオンの戦略上の優位性から右側通行らしいのですが詳細は省略します。普段何気なく道路を歩いていますが、その為のルール作りにも歴史があったことを知りました。岩田記

今後の主な行事予定

- ◎ 3月20日（水）片老連役員会
- ◎ 3月28日（木）湘南御行会役員会
- ◎ 4月7日（日）10時30分 諏訪神社花見会
- ◎ 4月14日（日）13時00分 御行町内会 総会
- ◎ 3月中旬から4月10日（水） 31年度、会費徴収
- ◎ 4月初旬クラブ補助金申請市老連
- ◎ 4月11日（木）片老連日帰り旅行
- ◎ 4月16日（火）13時30分

湘南御行会総会⇒場所：しおさい体育館

編集後記

西方公園の片隅、樋口さんが丹精を込めている花壇の横で「玉縄桜」（たまなわ）がほころび始めました。この玉縄桜、大船のフラワーセンターでソメイヨシノの中から開花の早いものを選んで開発した品種、まだ寒い2月中旬から3月上旬まで長期間楽しめるのが特徴とか。同時期に咲く濃いピンクの河津桜と異なりソメイヨシノに似た淡いピンクの花が特徴。

数年前に樋口さんの知人が植えました。西方公園には一足早く春の訪れです 岩田